



遠藤 勝年さん(41)
歩美さん(42)
＝江刺区岩谷堂字金打＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

1月27日と28日に江刺体育文化会館(ささらホール)で公演される第10回奥州市民☆文士劇「ヤマトタケル」。キャストで参加している勝年さんと歩美さんの夫婦です。

出会いは5年前の文士劇「元禄花舞台」。初参加で主役を演じた勝年さんは、歩美さんと夫婦役で共演します。勝年さんの配慮でもともと演じやすかったと話す歩美さん。公演後も一緒に食事をすると

ち、交際が始まり、平成27年11月に結婚しました。

二人は手づくりで結婚を披露する会を企画し、親族を招いて開催。人を笑わせるのが好きな勝年さんは、自ら司会するなど楽しい演出をたくさん考え、参加者からの「本当に楽しかった」との言葉がとてうれしかったといいます。

奥州工フエムのパーソナリティーを務める勝年さんは、朝4時に起きて出勤します。毎朝お弁当をつくってくれる歩美さんに「いつまでも元気に笑っていてほしい。これからも笑わせます！」と感謝の気持ちを伝えます。

二人のご褒美は、年一回の温泉旅行。ゆっくり過ごす時間を大切にしています。

文士劇の魅力は、キャスト・スタッフでひとつのものをより上げる喜びと語る二人。「公演に向け、全員で頑張っています。ぜひ観に来てください」と話す二人でした。

夢トーク 88 将来の夢は「ブライダルコーディネーター」



千葉 美咲さん
(衣川区・衣里小学校6年)

Interview

—学校の役割は？

児童会の書記です。自分たちでみんなが楽しめる企画を考えています。夏には、楽しみながら暑さをしのぐ「水かけ集会」を企画しました。

—小学校生活の思い出は？

修学旅行で仙台と松島に行ったことです。友達と一緒に最高の思い出をつくりました。

—好きな教科は？

社会です。歴史と政治などに興味があります。戦国時代の武将・織田信長は、常に新しいことを考えていて、すごい人だと

思います。

—中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

今もやっているバドミントンを続け、レギュラーを目指します。勉強では、数学が難しいと思うので頑張ります。

—将来の夢を教えてください。

ブライダルコーディネーターです。人のために頑張りたいと思いました。困っている友達を助けたり、支えたりできるような人になりたいです。そのためこれからの学校生活や行事も大切にしていきたいです。

青春讃歌

52

ソフトテニス部(女子)
(水沢高等学校)



- ◎部員数 12人
- ◎顧問 菊池 健弥先生
- ◎顧問 照井 俊仁先生
- ◎部長 千葉 洸佳さん(2年)
- ◎主将 及川 安佑さん(2年)

目標は県高総体連覇 インターハイ出場

昨年9月に行われた県新人大会で団体3位の成績を収めた水沢高校の女子ソフトテニス部。2年生7人、1年生5人の計12人が活動しています。

夏場は学校のコート、冬場は体育館を借りてほぼ毎日練習しています。「チームワークを大切に、みんなで声を掛け合って明るい雰囲気をつくりながら、技術向上に取り組んでいる」と話す主将の及川安佑さん。勝ちに行く姿勢を忘れないため、部活動を始める前に「絶対勝つぞ！」と全員で声を掛け合います。

昨年の高総体では31年ぶり4回目の団体優勝を果たしたソフトテニス部。「強くて頼りになる先輩たちが引退し、不安もある中挑んだ新人大会。目標としていたベスト4に届いたけど、もっと上を目指

したい」と語る部長の千葉洸佳さん。新人大会での反省を生かし、ピンチになったときを想定した練習を強化します。

顧問の菊池先生は「テニスが大好きで、明るく仲が良い部員たち。勝ちたい気持ちが強く、練習も真剣に取り組んでいる。高総体連覇は簡単ではないが、不可能とは思っていない」と期待を寄せます。

「練習は試合のように、試合は練習のように」をモットーにみんなでレベルアップを目指し、高総体連覇そしてインターハイ出場を目標に今日もボールを追い掛けます。



コート1面で乱打とボレーの練習をする部員たち



皆さま、明るく穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市出身の大谷翔平選手が、大リーグのエンゼルスに入団が決まりました。常に向上心を持ち新しいことに挑戦する姿勢に好感を覚えます。「二刀流」で世界の頂点を目指す大谷選手に、全市民を挙げて熱い声援を送りましょう！

先月台湾で開催された少年野球国際大会に若柳小6年の菊地碧君、胆沢第一小6年の佐藤衣吹君と五嶋真生君の3人が出場しました。貴重な経験と交流を深めたことと思います。大谷選手を目標に、日本や世界での活躍を願います。

5月に開催する「いわて奥州きらめきマラソン」の参加受け付けが始まっています。本市を丸ごと体感できるマラソン大会に、奮って申し込み

ください。

自動車用のシートフレーム部品の製造などを手掛ける東北日発株式会社と立地調印式を行いました。既に12月から操業を開始しており、今後は生産工場を増設し、東北地区での事業強化を図る計画です。同社の更なる発展と雇用拡大を大いに期待します。

日本鑄造工学会の特別功労賞を根岸工業所会長の佐藤庄一さんが、キャストイング・オブ・ザ・イヤー賞を水沢鋳工所が受賞しました。佐藤さんは、いわて鑄造研究会長としての功績と学会での活躍が認められ、水沢鋳工所は高級炊飯器「南部鉄器 極め羽釜」の開発が認められたものです。業界の先導役として益々活躍いただきたいと思います。

本年の干支「戊戌」という字は「戈」と「廾」の漢字2文字を合わせたとき、刈って収穫した作物を一つにまとめるという意味があります。皆さまの一年が、実りあるものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。

奥州市長 小沢昌記